

こは 事業 も

夜間急病センターなどの複合施設の建設

夜間急病センター、保健所、精神保健福祉センター、精神障害者地域生活支援センターの複合施設を大通西19丁目に建設。平成16年度にオープンします。夜間急病センターでは、診療機能などの充実を図ります。

基幹型在宅介護支援センターが全区に

介護が必要な在宅の高齢者に関する相談を受け、各種の介護予防事業を行う在宅介護支援センター。その中心として関係機関との調整などを行う基幹型在宅介護支援センターが10区すべてに整備されます。

いきいき福祉介護フェア2002を開催

福祉機器や介護用品の展示をはじめ、福祉と健康に関する総合的な情報提供の場として、5月17日(金)から19日(日)まで、白石区のアクセスサポロで開催します。



一昨年開催した「いきいき福祉さっぽろ2000」

各種保健福祉計画を策定

地域における福祉推進の方針を定めた地域福祉社会計画の策定を進めます。

このほか、高齢者施策の数値目標などを定めた高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画、従来の心身障害と精神障害を統合した障害者福祉計画

についても、来年春のスタートを目指して策定作業を進めます。

オストメイト対応トイレを新設

地下鉄琴似駅と白石駅に、オストメイト(人工肛門・ぼうこう造設者)対応の身体障害者用トイレを新設します。市の施設では、既に、市役所本庁舎、豊平区役所、札幌ドーム、地下鉄さっぽろ駅、大通駅、大谷地バスターミナルに設置しており、今後も整備を続けていきます。



3月に豊平区役所に設置されたオストメイト対応トイレ

児童虐待防止対策事業

急増する児童虐待の早期発見と適切な保護を行うため、児童福祉総合センターに担当課を設置。土曜や日曜日、夜間における通告受理体制の強化を行います。

精神障害者ホームヘルプサービス事業

精神障害者保健福祉手帳をお持ちか、精神障害を事由とする年金を受給している方で、病状が安定しているなど一定の要件を満たす場合に、ホームヘルパーを派遣します。

地下鉄駅にエレベーターなどを設置

平成15年度の完成を目指し、麻生駅と東札幌駅でエレベーターの建設に着手します。

また、平岸駅(真駒内方面)では、今年度設計に着手します。



生活習慣病を予防するため一人ひとりが健康づくりを実践することが求められています(写真は西健康づくりセンター)



健康づくり基本計画を策定し 地域ぐるみでの活動を支援

生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばすためには、一人ひとりが予防を心掛けることはもちろん、地域ぐるみの健康づくりを支援することが求められています。こうした中、乳幼児から高齢者まですべての市民の健康づくりを目指す計画を九月に策定します。計画では、「栄養・食生活」、「母子保健」などの領域別に、具体的な数値目標を盛り込むほか、年齢に応じた健康づくりの目標と手段を分かりやすく示します。計画を進める施策の一つとして、地域で自主的に健康づくり活動に取り組む市民グループに活動費を助成します。また、町内会や福祉のまち推進センターなども連携を図りながら、地域ぐるみの活動を支援します。

予定しています。市では、この会議を契機に障害に対する市民の皆さんの理解を深めるとともに、障害者の社会参加の促進を図ります。全身性重度障害者への介護人派遣の上限時間を月九十時間から百二十時間に拡大。また、精神障害者の交通費助成では、一・二級の手帳を所持している方について、これまでのウイズユーカードによる定額助成から、福祉乗車証またはタクシー券の交付に切り替えます(30ページ参照)。



このほか、視覚障害と聴覚障害の重度重複障害のある方が外出する際に、通訳・ガイドヘルパーを派遣する事業を始めます(32ページ参照)。